

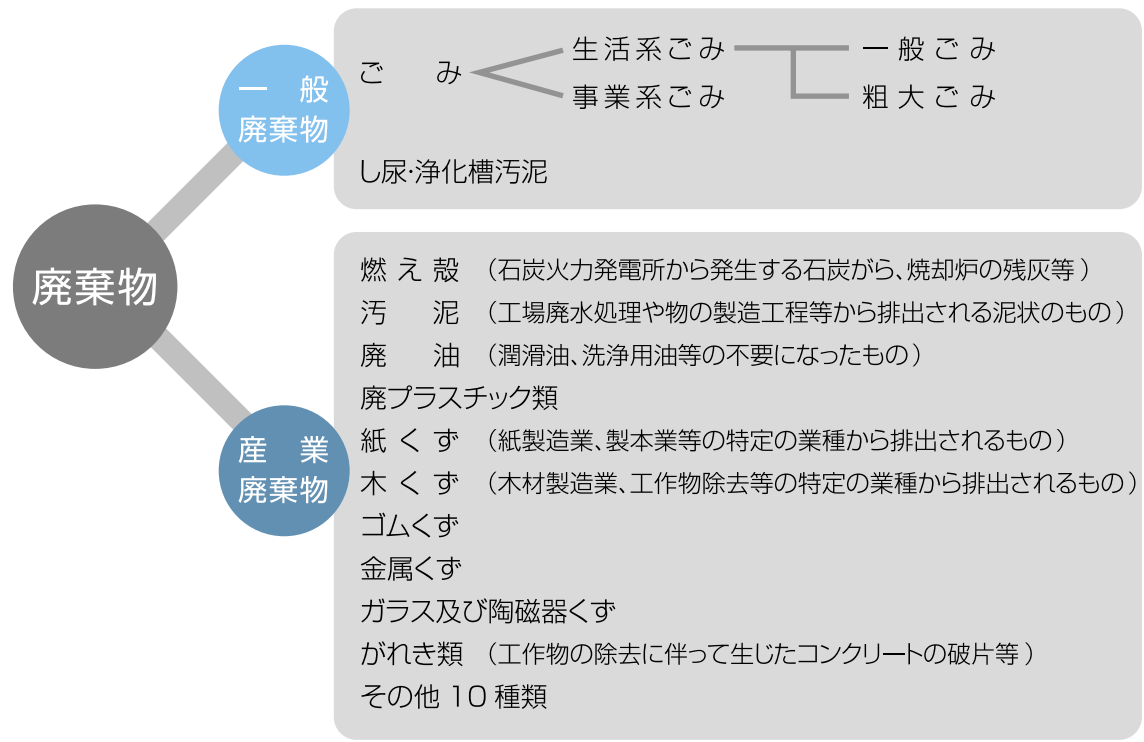
# 北沢の不法投棄の 解決に向けて(7)

現在、県では和見・小口地区のほば中央にある備中沢に県営の最終処分場の事業を進めています。「産業廃棄物」や「最終処分場」と言っても正しく理解されていない面もありますので、今回からそんな疑問についてお知らせをしていきます。そこで、今回はごみの種類（一般廃棄物、産業廃棄物）について説明します。

私たちが生活をしていく中でごみは必ず出てしまいます。工場などでも製品を製造する際にごみが出ます。これら出たごみを「廃棄物」と呼びますが、大きく分けると次の二種類に分けられます。

**一般廃棄物**  
家庭から出る主に生活の中  
から発生するごみで産業廃棄物以外のごみ

**産業廃棄物**  
工場等から出る事業活動の中  
から発生するごみで品目が  
定められたもの(20種類)



## 不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果

(平成17年度第4回年間変動調査分)

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

- 調査項目** 健康項目、生活環境項目、その他
- 採水日** 平成18年2月13日
- 採水場所**
- 1 周辺環境水
    - (1) 投棄地直下河川
    - (2) 小口川上流
  - 2 投棄現場
    - (3) 投棄地下流側浸出水
    - (4) 投棄地内浸出水

**調査結果**  
⇒周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

詳細については環境整備対策室(☎0287-92-1110)にお問い合わせください。

同じごみでも家庭から出れば「一般廃棄物」、工場等から出ると「産業廃棄物」となります。

以上、一般廃棄物と産業廃棄物の違いをお知らせしました。次回はこの廃棄物の処理先である「最終処分場」についてお知らせします。





## ケビンさんの学校めぐり

ケビン・ブラックバーン

まだ学校訪問が始まらないため町内の宝物である児童の話の代わりに、今回は私が子どもだったころ、ちょっと変わった方法で家族からもらった小づかいについて紹介します。

小学生の時はお金がなくても色々な遊びができました。近くにあったオレンジ森の中でかくれんぼやトカゲつかみをしたり、車庫の前でテニスボールとバットで野球をしたりして結構友だちと満喫しました。

しかし一人で遊ぶ時、私は野球カードを居間のカーペットの上に広げて、ビー玉と鉛筆で「野球」をしました。野球カードを集めるために私は小づかいが欲しくなりました。友だちの家庭では、小づかいは定額で支払われていました。友人のドニー君は週5ドル、マーク君は20ドル。最初は両親が私の欲しい物を買ったり、買わなかったりして、買う権利は私にありませんでした。しかし、私が両親に小づかいをうるさく求めたので、ある日ブラックバーン家の小づかいシステムが実施されました。

## 手伝いと小づかい

まず、基本の手伝いがありました。たとえばゴミを外に出したり、皿洗いを手伝ったりすることが基本の手伝いでした。これには小づかいが付きません。

そして、小づかいが付く手伝いもありました。車を洗ったら1ドル。父の靴を磨いたら1足につき2ドル。車をワックスで磨いたら5ドル。居間の拭き掃除をしたら1ドル。しかし、この小づかいが支払われるためには基本の手伝いをすることが条件でした。

実施当初、私は高額の手伝いをねらい、何回も「お父さん、靴が汚れていませんか?」「車が汚れているようですね。洗ってワックスをかけましょうか?」等と聞いたりしました。

ただし、私は小づかいがもらえる手伝いを一生懸命に頑張っても、基本の手伝いを前の週にやらなかったら1セントももらえませんでした。

この小づかいシステムで、私は仕事に対して大切なことを学びました。それは、やりたい仕事とやりたくない仕事がありますが、「おいしい」仕事をする前に、「面倒くさい」仕事を済ましたほうが良いということです。

振り返ってみれば、これはブラックバーン家の基本教育方針でした。肉を食べる前にサラダを完食することとか、友達と遊ぶ前に宿題を済ますことも条件でした。みなさんのご家庭ではどうしていますか?

## 小川第一保育園から

シリーズ 施設巡り

こんにちは



小川第一保育園は小川小学校の東隣にあります。十八年度がスタートし子どもたちは進級したうれしさいっぱい「せんせい、おはようございます」と登園してきます。五才児に年長組になった

イソーラン』を踊り、「ヤー!」のかけ声、そして、草だんごをほおぼりました。花もよし、人もよし、だんごもよしというところでしょうか。そして十二日には親子交

通安全教室があり、保護者の方々が集まるとどうしても見せたいと大ハッスルの子どもたち。急ぎよその場を設け披露すると大拍手を受けました。子どもたちの大成功!という顔が印象的でした。「小川第一保育園十八年度物語」のはじまりはじまりです。これからどんなことが待ち受けているか楽しみです。

子ども育て隊と称し、保護者と協力し

気持ちでインタビューすると、「運動会が楽しみ」「発表会がんばる」と頼もしいことばが返ってきました。

今年度初めての行事はお花見会でした。桜の花の下、紅白幕の前で『ヨサコ

て進めていきたいと思っています。いろいろなことを経験し、感動していきましよう。町民の皆さま、近くへ来た時はぜひ声を掛けてください。